

経営比較分析表（令和5年度決算）

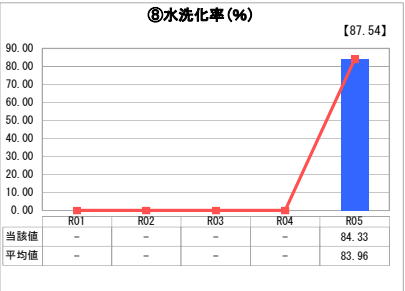
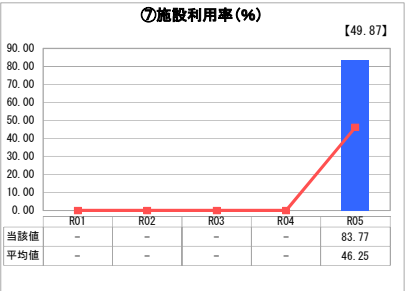
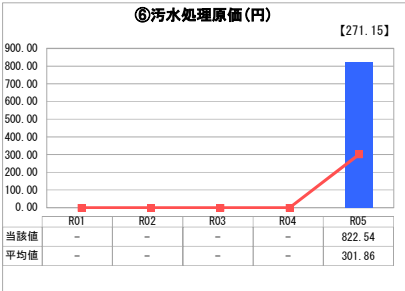
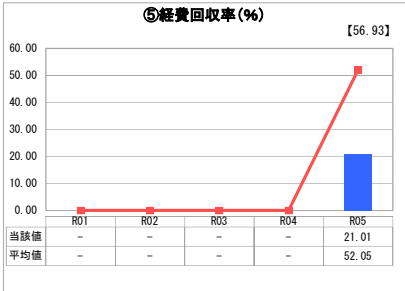
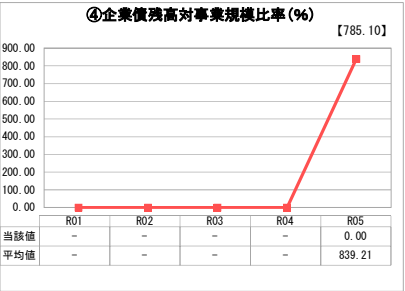
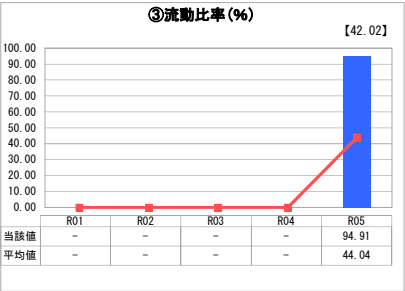
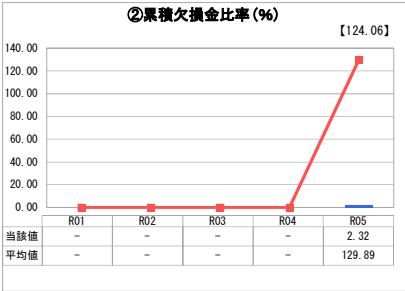
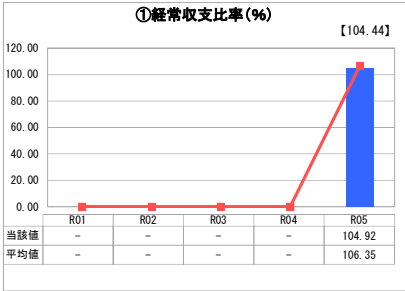
岐阜県 七宗町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	76.36	33.05	49.76	3,467

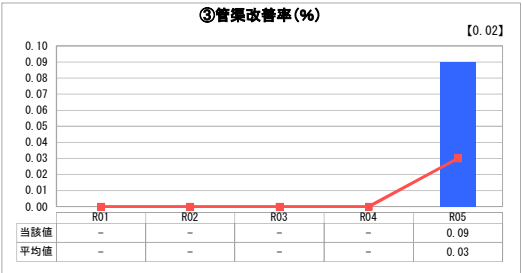
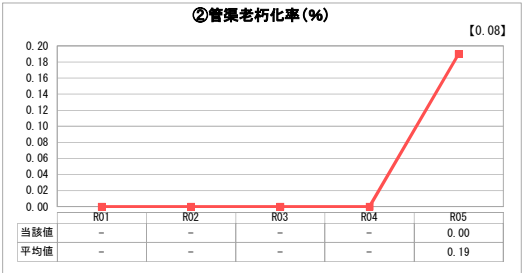
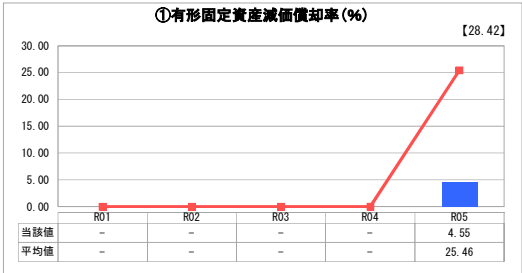
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
3,290	90.47	36.37
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,072	2.76	388.41

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本町は、農業集落排水事業・小規模集合排水処理事業・個別排水処理事業を一つの下水道事業として、令和5年度から地方公営企業法の一部を適用し経営している。

農業集落排水事業は、処理区域内集落が点にしているため、各処理施設が4箇所に点在しています。中山間地域ので形的な要因である土地の高低差や中小河川の多さに伴いマンホールの箇所数の増加、真空式放流システムの採用や隣接する家屋間の離間距離などの諸条件から管渠延長の長大化が要因となり⑥汚水処理原価が高い傾向にあります。また、未接続世帯についても高齢化により接続を断念される世帯もありましたが、徐々に改善され、⑧水洗化率は、平均並みとなってきました。

それぞれの項目を少しでも改善できるように今後も、コストの削減、平均よりも低い⑤経費回収率を上昇させるため、接続促進、使用料改定など経営改善に向けた取組の継続を目指します。

* 表中④企業債残高対事業規模比率のR01当該値～R05当該値は、一般会計で負担するため「0.00」である。

2. 老朽化の状況について

それぞれの施設において供用開始からの経過期間が異なるが、老朽化が進みつつあるため、各施設毎に発生する管渠への不明水混入の原因調査を継続して実施することにより、早期発見及び早期対応を図り、管渠を含め設備及び施設全体の長寿化を目指す。

全体総括

事業の健全運営のため、七宗町下水道事業経営戦略の見直し、処理施設、管渠及び各設備の更なるコスト削減を図るため、最適化整備構想を基に、各処理施設の計画的な定期点検と必要な修繕等を適宜実施していきます。

また、今後の人口減少により、使用料収入の減少も想定されるため、未接続世帯の接続促進に努めるとともに、使用料改定も考えながら健全経営を目指します。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。